



開幕試合で白熱した戦いを繰り広げる徳島市立と鳴門の選手—徳島市球技場

徳島市立8強入り

れる。

守りからリズム

○…徳島市立は立ち上

全国高校ラグビー 徳島県大会 第1日

ラグビーの第98回全国
高校大会徳島県大会は28
日、9チームが出場して
徳島市球技場で開幕し
た。第1日は1回戦1試
合があり、徳島市立が45
―7で鳴門に快勝し、8
強入りを果たした。第2
日は11月4日に同球技場
で準々決勝4試合が行わ
れる。

▽1回戦

徳島市立 45
1728 17
107 鳴門

がりから、大木らFW陣
が丁寧な相手の突進を止
め、守りからリズムをつ
くった。守備が落ち着く
と、相手のミスからチャ
ンスをつくり、前半6分
に四宮が左隅に飛び込ん
で先制。その後もナンバ
ー8下川主将やSO石堂
らがスピードを生かして
得点した。

今年はいが人が続出
し、県春季大会は棄権。
県総体も初戦で敗れた。
その後、守りとスタミナ
の強化をテーマに練習
し、いい状態で大会を迎
えた。下川主将は「練習
してきた守備を発揮でき
た。次もしっかり守って
走り勝ちたい」と抱負を
語った。